



福王寺だより

今年は中間がないような季節感でいきなり寒くなり、秋を感じる季節となりました。諸行無常、一時ひとときを大切に生きて生きたいと感じます。

「三ツ星に学ぶ」

先輩が「グランメゾン東京」というドラマを題材にお話していたことが心に残ります。木村拓哉さん主演で、三ツ星レストランを目指すというコンセプトで中々に楽しいドラマなのですが、印象に残ったのは三ツ星レストランの定義です。

一つ星「近くに訪れたら行く価値のある優れた料理」

二ツ星「遠回りしてでも訪れる価値のある

素晴らしい料理」

三ツ星「そのために旅行する価値のある卓越した料理」

これは料理に

限らず、お寺にもあてはまるのではないかとこの事でした。

確かにその通り

だなと思いますし、もう一度訪れたい場所になることが出来ればとも思います。



さてこの事例をお寺に当てはめてみたいと思います。

一つ星「近くに訪れたら行く価値のある優れた料理」

これはなんとなく出来て来ているのでは

ないかと思えます。幼稚園の子どもたちも散歩に来るのを楽しみにしていますし、季節季節の花が皆様を迎えてくれ、管理は大変ですが素晴らしいロケーションを持っています。

本堂も立派でとても気持ちの良い空間であります。

二ツ星「遠回りしてでも訪れる価値のある素晴らしい料理」

北見や美幌、また旅行に訪れた人が来たいと思うほど認知されていますし、対応もできてないですが、近年では清里からわざわざバスで藤の花を見に来る団体も来られたり、良いと感じてくれている方もいるようです。

毘沙門天祭を今年からはじめ、たくさんの方にお寺に来て頂きました。少しでも多くの方が手を合わせる場所に来られたらと思

い、足をのばして来てくれるお寺でありたいですね。

三ツ星「そのために旅行する価値のある卓越した料理」

なかなか北海道八十八ヶ所のお遍路さん以外で、私達のお寺のためだけに旅行に来る方はいませんが、百周年で仏像が造立され、どんどんと良い場所になっていくことは間違いない事です。

百年後は三ツ星お寺になっているかもしれません！ またそんなお寺にしていきたいとも思います。

なににせよこの素晴らしい場所が出来ているのは、ご先祖様をはじめ、ここにいらっしゃる皆さんの思いや祈りが行動となり、こうして出来ているのだと思います。本当にありがたいことです。

過疎ではありますが、ご先祖様が安心して供養を受け、地元の人が必要な場所で、沢山の人が心洗われる場所となれるよう精進していきたいと思えます。

百周年事業も二年目となりました。先代への感謝と次世代の祈りために、引き続きご協力よろしくお願い致します。

行事のご案内

十一月四日 午前九時

第三回下座行

第三回目の下座行です。先祖様に供養すると同時に心を磨きましょう。境内が綺麗になっていく様は、気持ち良いですよ。

お掃除です。お手伝い

おねがいします。



十一月十七日

午前十時

報讃会

今年最後の大法会です。網走の管内のご寺院様、布教師様をお招きし、理趣三昧という密教の最高の法要を執行し、一年の感謝を込めて祈りを捧げます。

行事報告

秋のお彼岸、母が不在ではじめての行事でしたが、たくさんの方にお手伝い頂き無事に終える事ができました。感謝。

